

伊勢湾

7月3日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾湾奥部で貧酸素水塊が確認され、愛知県側については、前回調査より貧酸素水塊の規模は拡大していました。

先週から引き続き大雨の影響を受けて海水交換が進み、一時的に貧酸素水塊は縮小しますが、その後は塩分躍層が発達して貧酸素水塊が拡大するものと思われます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	22.2~24.3	19.1~30.9
底層	17.0~22.0	31.2~34.0

三河湾

7月2、3日の調査結果を図1に示しました。渥美湾湾口部寄りに貧酸素水塊が確認され、前回調査より貧酸素水塊が縮小していました。また知多湾奥部の貧酸素水塊もやや縮小していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、6月30日の低気圧の通過により貧酸素水塊が解消された様子が観測されました（図2）。

先週から引き続き大雨の影響を受け、しばらくは貧酸素は解消されるものの、その後は塩分躍層が発達して再び貧酸素水塊が形成されるものと思われます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	22.1~26.4	7.7~31.0
底層	20.3~25.2	27.4~32.8

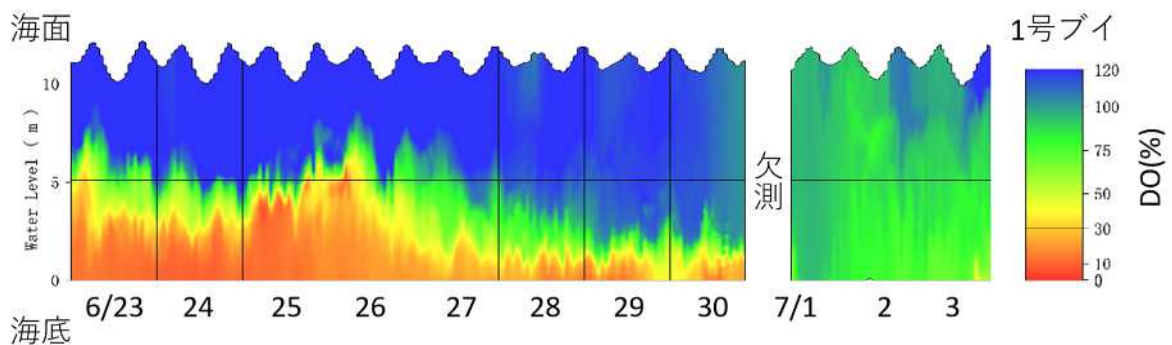


図2 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況 (図3)

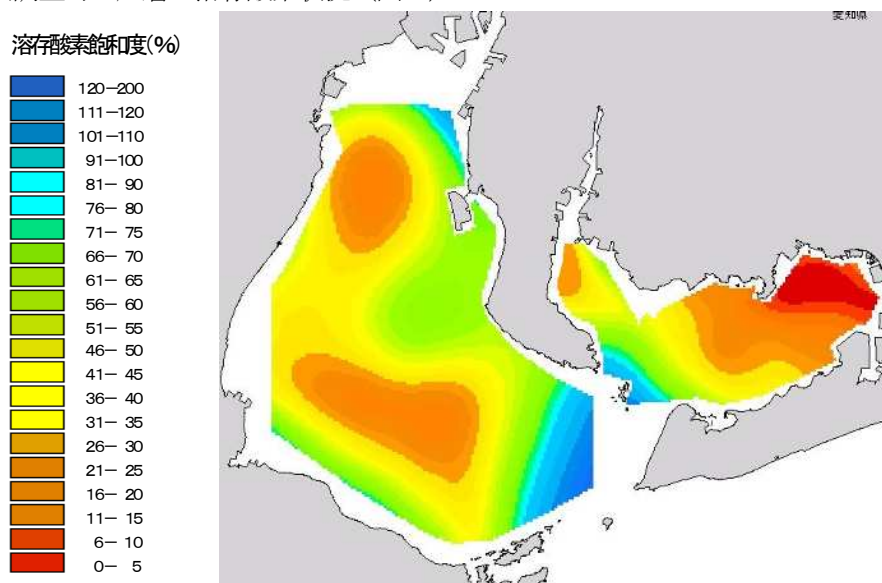


図3 令和2年6月22、23日 (伊勢湾)、6月23日 (三河湾)